水で世界に“waku-waku”を
Cleansui
三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

管理組合が創る快適情報紙
Amenity アメニティ
集合住宅管理新聞

▷発行所◁
アメニティ編集室
（株式会社・東京プラニング）
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-10 大成ビル
TEL（03）3666-1973
FAX（03）3667-1808
年間@3,700円・郵便振替00120-2-59596
©禁無断転載・複製

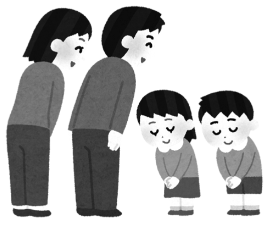
第443号★
２０１９年（令和元年）
８月５日（月）
www.mansion.co.jp/

夏休みを楽しく過ごすために
子どもの事故をみんなで防ぐ

夏休みになると、子どもの事故は増えます。団地・マンションでの事故には、固有と共通との問題があります。それらを知ることで対策が図られます。

マンションコミュニティの第一歩

50年ほど前の東京のおとなたちは、自分の子どもに対してだけではなく、どこの家の子どもでも気にかけ、ときには叱ったりもし、問題や事故が起こるのを未然に防ぐ役割を担っていた。今は「なんでうちの子どもを叱ったんだ」などと、イジメられたと思う親もいるようだ。子どもたちとあいさつを交わす関係を築き、時には注意し、さとすなど、子どもの行動をあたたかく見守るのはマンション・コミュニティーの第一歩といえる。



危険予知に敏感になろう

夏まつりは安全・衛生に気をつける

歯磨き中、歯ブラシによる喉突き事故は一年中ある。夏祭りなどで綿菓子やフランクフルトなどの棒による喉付き事故に気をつけたい。棒を口にしたまま歩いたり走ったりするのは危険。とくに夏祭りでは、子どもは、はしゃいで走り回るので、転倒・衝突による自身の骨折や喉付き事故に気をつけたい。衝突によって高齢者が骨折をした例もある。

夏まつりは、衛生面にも注意を払いたい。模擬店で提供する食品に火を通していれば菌は死滅していると思いがちだが、煮ても焼いても死滅しないセレウス菌などもある。食中毒は、子どもや高齢者などに影響を与えやすい。

「菌をつけない」（清潔）・「菌を増やさない」（迅速）・「菌をやっつける」（殺菌）という食中毒予防3原則を、管理組合・自治会は徹底的に学び励行したい。

悲惨なクルマの事故

慣れていると思っているマンション構内でも、油断は禁物。「まさか、こんなところに人はいない」という思い込みが、安全確認を怠ることになる。クルマのエンジンを切って、降車するまで「運転は終わっていない」と心掛け、周囲への注意を怠らないようにしたい。小さい子どもは死角に入り見えない。後方は約10ｍも死角である。親が子を轢くという悲惨な事故もあり、子どもの乗車・降車時には十分に気をつけたい。

「アクセルが戻らなかった」「ブレーキを踏んだが効かなかった」など、公道などでの高齢者による事故が後を絶たない。運転操作ミスが原因なので、マンション構内でも起こり得る。クルマを運転するすべてが自分のこととして考え、管理組合は居住者への注意喚起を行いたい。

小学生がローラー付きシューズを履いて転倒して骨折したり、通行人にぶつかって怪我をさせるなどの事故もある。

自転車による人身事故の多くは、スピードの出し過ぎと出会い頭の衝突で起きている。マンション構内はもちろん、公道でも気をつけたい。

転落事故

大阪のマンションで6月、10階建てマンション9階の自宅ベランダに置かれた台に上って手すりを乗り越えたと思われる3歳児が、約25メートル下に誤って転落し死亡した。子どもを一人にした、ベランダに台を置いていた（子どもが部屋から台を持ち出したこともある）ということが、転落事故では共通しているので十分に気をつけたい。

構内や近隣を探検しよう

子どもが遊ぶ場所やその経路に危険な箇所がないか、子どもに案内をしてもらい親子で探検・確認をしたい。地震によるブロック塀の倒壊で女児が犠牲になったのは記憶に新しいが、喉もと過ぎれば…になっていないか、危険予知の感覚を研ぎ澄まし、危険箇所がないかを確認したい。化粧ブロック塀は一見するときれいに見えるので、危険を見逃す。側溝や暗渠の蓋や覆いが外れていることもある。

管理組合として注意しておきたいことも多い。構内のマンホールや側溝などの蓋などは、安全に設置されているか。フェンスの金網から針金が飛び出ていないかなど、子どもの事故を未然に防ぐための安全パトロールを行いたい。これらは清掃活動などとともに子どもと一緒に団地やマンションを巡ると、いっそう効果が高まる。

団地・マンションでの事故を起こさないという、管理組合と親たちの強い意思と行動があってこそ子どもは安全に過ごせる。

子どもは日本の未来の宝である。安全なマンションで健やかに育てたい。

硯滴

このところ『マンションの終活を考える』という本や「マンション管理の悲劇」という雑誌特集など、世間にマンションは終わりかという印象を与える発行物がつづく★私たちはマンション管理をどう充実させるか、どう将来の展望をきりひらくかと、それなりに苦心しているつもりだから、こういう話題には同調しがたい★もっとも「終活」を書いた本を読んでみると、編集者の意図はともかく、マンション再生をどう図るかとのテーマや居住者の合意、コミュニティの充実を強調した論文や実例報告など、決して「終活」ではない内容もあることは事実だが★マンションの本質は建物ではなくて共同の住生活にあると思う★いちばん心配なのは、「終活」の検討が経済的合理主義やマンションを終わらせるための法制度の整備に力点が置かれていることである。深く考えたい。

マンションの花木

サルスベリ（百日紅）

みそはぎ科

夏の暑さの中で、白、ピンク、赤の花が百日も咲き続けることからこの名前がつきました。幹がツルツルと滑るので、猿も滑るとの名も。

〈主な記事〉

◇マンションの肖像　２面
◇大規模修繕工事事例　２面
◇マンション１００年化計画　３面
◇メンテナンス企業ガイド　４面
◇日住協催し案内　５面
◇論談・ＮＰＯ日住協50周年　５面
◇マンション建物Ｑ＆Ａ　５面
◇むつこの料理教室　６面
◇タエコさんの生活エッセイ　６面
◇大人と子供の楽しい算数　６面
◇オリーヴオイルを旅する　７面
◇美しく生きるための音楽　８面

マンション関連の動き

- 21年度中に市が優良な管理を行うマンションを認証する制度導入へ／神戸市
- マンションの管理の適正化に関する指針に関する検討会を設置／東京都

住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency
（旧「住宅金融公庫」）

マンション管理組合の皆さまへ
住宅金融支援機構が修繕積立金をお預かりします。

マンションすまい・る債 募集中!!

２０１９年度
応募受付期間
４月24日（水）～９月19日（木）

10年満期時年平均利率
0.102％（税引前）

募集口数１５０，０００口（応募数が募集口数を超えた場合は抽選）

経過年数に応じて年平均利率は年々アップし、10年満期まで預けた場合の年平均利率は0.102％（税引前）になります。

お問合せ先
資料請求先
住宅金融支援機構お客さまコールセンター
住宅債券専用ダイヤル
０１２０-０８６０-２３

・営業時間　９：００～１７：００（土日、祝日、年末年始は休業）
・ご利用いただけない場合（海外からの国際電話など）は、
次の番号におかけください（通話料金がかかります。）
電話：０４８-６１５-２３２３

「マンションすまい・る債」の詳細はこちらから！　すまい・る債　検索
https://www.jhf.go.jp/loan/kanri/smile/index.html